

◎第9回 豊丘村リニア対策委員会 を 平成29年7月20日(木) 午後7時30分～ 保健センター2F にて開催しました。

○委員出席者数 31名      ○長野県 2名      ○JR東海 16名(内JV 3名)      ○中部電力 8名      ○豊丘村 6名  
○傍聴者数 21名

1. 開会   屋神総務課長
2. 村長あいさつ
3. 会長あいさつ
4. 事業関係者等あいさつ

○長野県 リニア整備推進事務所 栗林調整課長      ○JR東海 名古屋建設部 古谷長野担当部長      ○中部電力 リニア関連送変電G 永井統括部長

5. 協議・報告事項

(1) 変電所工事関係について〔中部電力〕

説明 中部電力 前沢課長

○変電所工事について 配布資料とパワーポイントを使って説明      ○変電所造成・工事等車両通行ルート・車両台数・調整池容量機能 等

○質疑応答

| 対策委員会での質問・意見・要望   | 事業者等の回答(村・県・JR東海・中部電力)  |
|---|---|
| <p>会長 只今の説明に対して、ご意見ご質問がありましたら出させていただきたいと思います。いかがですか？ 今回の変電所は、田村区、林区、堀越区、河野区と全村が関係してきています。地元説明は丁寧に行っていたと思いますが、区長さん方向かご意見は？</p> <p>① 中部電力の変電所造成工事における使用道路については、特に当区内の長沢地区の生活道路への影響が懸念されることから長沢地区住民への説明もしてもらっており、その際には、安全面への心配から村道長沢線のカーブが多く見通しが悪い箇所への対策に関する質問が出されています。中電には、質問や意見に対する検討を期待します。</p> | <p>⇒中電 地元説明会で出されたご意見、ご要望については、本日の対策委員会以降、関係地区の役員の皆さまと現地を歩きながら確認させていただき、安全対策や改良についてご相談させていただきながら進めていきたいと考えています。</p>  |
| <p>② 車両通行ルートの提案があったが、車両通行にあたっての騒音、振動については、JR東海と同様の対応をいただけるものと受け止めています。振動においては、道路の継ぎ目や横断溝、橋の段差、騒音においては、上り坂でのエンジン音、人家のある所での急加速の回避等、中電は具体的な対策をどのように考えているのか？ 他の皆さん如何思われますか？</p> <p>→会長 これから地元から出た意見要望については、実際に現場で地区の役員と対応を考えていくと言う事でよろしいですか？</p>  | <p>⇒中電 振動については現在調査中です。先ほどの安全対策と同様、関係地区の役員の皆さまと現地を確認させていただく際に、騒音、振動の影響が出そうな箇所をご指摘いただき、対応していきたいと考えています。</p> <p>人家のある場所での騒音のご懸念については、ダンプの運転手への教育を徹底し、運行開始当初は当社社員や請負業者が監視して、しっかり音を下げゆっくり通行するよう対応していきたいと考えています。</p> <p>⇒はい</p> |

(2) 「本山発生土置き場」に対する豊丘村の見解

▶村長 議会一般質問でも出され、お答えしておりますが、村としての正式な見解をこの場で発表させていただきます。

本山生産森林組合所有地の発生土置き場候補地に対する豊丘村の見解

平成25年4月5日 当時の本山生産森林組合 組合長 菅沼和明氏から、村へ提出された「発生土処分候補地の要望書」により、村ではその場所を候補地として適する場所として、長野県に報告し、その後、長野県からJR東海に候補地の報告がされているものです。

本山生産森林組合では今年5月18日に、JR東海に対し土地使用同意の撤回を通告してありますが、村では、この土地使用同意撤回と平成25年4月の発生土処分候補地要望書の取下げとは、別のものと考えています。

これは、本山候補地の要望に際しては、組合の意思決定手続きに瑕疵があったものの、組織決定の必要は無いことから、処分候補地の要望自体は有効と判断しているからです。

したがって、候補地としての本山は、継続しているものと認識していますので、この場で、村の見解を述べさせていただきました。

→会長 今、村長の見解につきましては、村はそういう方向で対応するという事でございますので、質疑応答というものではありませんが、どうしてもこの事について聞きたい事がありましたら出してください。よろしいですか？ では、この事については今の村長発言のとおりですので、承知をしておいてください。

(3)「発生土置場における環境の調査及び影響検討の結果について」への知事助言に対する対応方針について〔JR東海〕

説明 JR東海 小木曾 担当 ○出席者紹介 担当部長 古谷 長野工事事務所長 平永 担当課長 小池 担当課長 太田垣

○本山発生土置き場における環境の調査及び影響検討の結果についての知事助言に対する対応方針について 配布資料とパワーポイントを使って説明  
本山発生土置き場候補地については、地元の皆様に説明する機会を設けていきたい。具体的時期は関係者と相談し決めていく。

○質疑応答

▶会長 専門的な説明がありました。今日ご覧になっても解りづらい事もあったと思いますが、今までの経緯を踏まえてお話がありました。それから、長野県からの助言を踏まえて、JR東海さんが追加でこういう事をやりますという方針を出されたと言う説明でした。今日の時点でご意見ご質問がありましたら如何でしょうか？

③確認ですが、県からの助言についての対応を記した文書を届けたのは何時ですか？

→事業者の対応方針について、植物4-(9)について具体的方法が書かれていますが、5月17日の時点で、移植などが終わっているところがあると言う話を、私は聞いているんですが、そういう事実はありますか？

→と言う事は、こういう対応を県に向けて表明する前に、移植をしたと言う事は、私は手続的に違うのではないかと思います。県から指導が出された事に対して、お答えをして、県の方でこの内容でいいよとお答えが来てから移植をしたと言う事ならば手続き上問題ないと思いますが、それより前に行うと言うのはどうでしょう。私は、ちょっと違うと思いますが？

→そういうお考えが私は違っていると思います。それに、私どもは、この書類を見るのは今日初めてなんです。説明をいただくのも初めてなんです。こういう説明を私どもにする前に、移植をすると言う事自体も、今までの約束事から言っても・・・。

〔以下委員による討議〕

←前にも移植の話はあったではないですか。

→どこの場でありました？

←この場であったではないですか。

→そうでしたか。

←更にそれを丁寧に県から指導してもらって、そして今新たな方向で移植をする説明をしている。移植をする話は、前からずっとある。初めてではない。

→こういう正式な文書で出てきたのは初めてだと思います。

←長野県から助言を受けたので、それを説明してる。最初から移植すると言っています。

→そうでしたか。記憶違いがあるとすれば、もう一度確認をします。これについては以上です。

⇒JR 今年の5月17日に長野県に対しまして回答を提出しております。

⇒本山の影響検討における移植については、平成29年4月に実施しております。

⇒JR 私どもの考えとして、移植をやる、やらないの検討結果については、2月の影響検討書を作成した時点で、“この種”については移植が必要だと考えております。その後県に対してその内容を報告しておりますし、その後技術委員会での説明をしている中の専門家の方の議論の内容、頂いた助言の中に、移植する種と言うのは保護の観点から直接申し上げられませんが、その種について直接助言は無かったものですから、移植する事は十分だと言う事で、移植しております。

④資料の県助言と事業者の対応方針の6分の6ページその他の(2)に「環境面や安全面での住民の心配を解消するよう、丁寧な対応に努めること。」とあり、実際に色々と配慮いただいているところですが、2週間ほど前のPTAの会合の際に、北村自治会の父兄の皆さんから、リニアのダンプの走行が芳しくないという意見があり、実際にどうなのか聞いたところ、「センターラインをオーバーしてくる」「スピードを相当出している」県外ナンバーのダンプらしいのですが「携帯電話を掛けながら走っている」という事であった。工事が始まったばかりでこの様な状況では今後非常に心配だという声が北村地区の父兄から出ました。「20日の会合で伝える」旨話しましたら、「そんなに待てない」と言われ、学校の教頭先生を通じて、工事会社へお願いをしてみますと言う事としました。工事用道路の建設が始まっている中で、早速地元の皆さんの懸念されている問題がやや起きつつあるという状況と思います。実際に豊丘南小学校の先生方から、JRさん若しくは建設会社さんにお願いが上がっていると思いますが、今一度再確認をお願いしたいと言う事と、学校から上がった意見に対して地元の方の心配を解消できるような対応をお願いしたいと思います。

→承知しました。今の報告を学校の方へ持ち帰りたいと思いますが、地元の皆さんがピリピリしているというか、心配されていますので、リニア工事の皆さんだと決めてかかっている訳ではありませんが、私たちの工事車両ではないと片付けるのでなく、地元もナーバスになっている所もありますので、該当する車が通ってしましたら是非業者間で水平展開を取っていただけるようお願いします。またJRさんの車両には黄色いステッカーを貼っている旨の周知をお願いします。

▶会長 随分注意をしながらやったださっているようですが、JVさんもより徹底していただけるようお願いしたいと思います。PTAの方たちも、地域住民の皆様もみんなそうだと思いますが、大切なお子さんの事故防止についてお互いに注意していただきたいと思います。他に如何ですか？

⇒JR(JV) 工事を担当の共同企業体からお答えします。6月12日から工事を開始しています。実際に大型のダンプは現在使用していません。10t車のダンプは碎石を積んでくるものを最初の頃若干使用しましたが、現在は4tの小型の物を利用しています。工事のルールとして、工事車両については黄色のステッカーを貼る事としていますので、もう一度ご確認をお願いします。JV事務所建設で、地元の企業さんで、土砂を入れる際に大型のダンプを利用しましたが、ゴールデンウィーク前に40台くらい利用しています。リニア工事としては、土砂運搬を行っていませんので、私どもの車両ではないと確信しています。工事は、地元の企業さんをお願いしていますので、地元の関係会社車両を利用していますので、県外ナンバー車両は利用しておりません。

⇒JR 非常にリニア関係の工事は注目されています。大型車両が通っているとリニアの関係かな？と思われる所があります。当然我々の方は我々の方でしっかりとルールを守って安全に運行できるようにやっていきたいと思ひます。再度肝に銘じてやっていきたいと思ひますのでよろしくお願ひいたします。

⑤トンネル工事の工法について、博多の事故は凝固剤が少なかったと聞く。凝固剤をかなり入れると思う。トンネルを掘ると凝固剤の入った土砂が廃土となる。そのあたりをお聞かせいただきたい。

→凝固剤の入った土が廃土となるのですか？

→水脈調査はかなり実施しているという事ですか？

→気を付けてよろしくお願ひします。

⇒JR(JV) 博多の工事の場合、工法はここと同じNATM(ナトム)工法です。しかし掘削地山に大きな差があり、私たちの対象地山はご存じのように花崗岩で、墓石クラスの硬い物が出て来る予定です。しかし亀裂があって山の悪いところも認められます。まず穴を掘って、硬い柔らかいを確認してから掘っていきます。その時に適切に固まる薬を入れながら掘っていきます。圧倒的に博多の場合と岩の硬さが違うので、ああいってトラブルは基本的に起こらないと考えています。博多の場合は特殊で、薬液の量が足らなかつたり水が出たりしました。水が出たことが大きな問題なのですが、完全に岩種が違いますので、そういった事は今回考えられません。

⇒今回は土質が土に近いものです。同じNATM(ナトム)でも岩の硬さによって工法が異なります。福岡は都市NATM(ナトム)という工法で、凝固剤を入れて固めない掘れない。凝固剤を入れないと山が崩れてしまうという固さです。今回の私どもの工事は、発破を掛けて掘っていくような山になりますので凝固剤は使いません。そこで発生するズリは、吹付コンクリートが若干混ざりますが、凝固剤が混ざる事はありません。

⇒山岳トンネルは距離が長いものですから、全線にわたって調査を実施する事はほぼ不可能です。各種試験があって、大体水が出る所は解っております。しかし、山の高さなどの関係から調査が適切でない事もありますので、私たちの場合は、先に小さな穴を掘って、水が出るか出ないかを確認しながら掘っていきます。先にチェックするというより、実際に確認しながら掘っていく方法を取ります。以前は無かった技術ですが、最近の技術で現場で確認チェックしながら、水が出なかつたら掘り進めるようにします。水が出れば、水を抜くなどの作業をしてから掘り進めます。

#### (4) 現在の進捗状況について

##### 1. JR 東海より

① 現在実施している工事の進捗状況について説明します。

①林道大島虻川線 道路改良 83箇所 落石対策箇所 17箇所 実施予定  
道路改良 9箇所完了 2カ所施行中 3箇所落石対策工実施中

②村道小枝線 アスファルト舗装前の砕石の敷き均しを実施中確認書締結後に道路改良工事を開始できるよう準備作業を進めています。

② きのこ山シーズンの9月1日～11月10日の間は、村道小枝線、林道大島虻川線、村道中央横断線、県道長沢田村線の改良工事は実施しない。この期間は、村道長沢線、村道中央線の安全対策工事を実施する。今後、林道大島虻川線では、盛土工、切土工、擁壁設置工事の為通行止め工事を予定しています。迂回路の村道小枝線の改良をそれまでに完了したい。

➤ 質疑応答 なし

##### 2. 中部電力より

現在、調査、測量、設計、自主環境調査を実施しています。今後は、地元の皆様との協議、地権者との合意をふまえて、変電所は平成30年の秋、送電線は平成31年の秋ころから着手を目指しています。

➤ 質疑応答 なし

##### 3. 長野県より報告事項

長野県は、用地取得事務のうち、用地交渉と用地契約を担当しています。坂島非常口と戸中非常口については、契約済となっています。変電所用地、壬生沢坑口用地については、用地測量が整っていないため、交渉に至っていない状況です。

➤ 質疑応答 なし

#### (5) 今後の進め方

次回の開催予定を、9月中旬から9月下旬頃に予定したいと考えています。

#### 6. 閉 会

○終了時間 午後9時30分